

	号外	定価 1部2円	人事委員会闘争の 前進回答！国体・ 台風災害で踏ん張 る組合員に報いる 勧告実現のため、 闘争に結集を！	
	昭和34年4月1日	発行所 盛岡市内丸10番1号		No.2379
	第3種郵便物認可	岩手県庁内		2016年 9月26日
		岩手県職員労働組合		

2016県人勸④一朝

9.27 人事委員会事務局長交渉へ！ 勤務意欲が持てるプラス改定／扶養手当改悪阻止へ

県地方公務員共闘会議（議長：佐藤淳一 岩教組委員長）は、人事委員会勧告を巡り、月例給・一時金のプラス改定、配偶者の扶養手当見直し阻止をはじめとした要求事項への前進回答に向けて、9月27日にヤマ場となる事務局長交渉を行う。

【交渉の経過とポイント】

9月16日に実施した職員課長交渉の結果を踏まえ交渉ポイントは次のとおり。

◎ 全職員の賃金改定を

給与改定に関し、民間では賃上げ傾向としながら「昨年比去年大きく好転していない」とし、今後の情勢が不透明。物価高の状況や中高年齢層を中心に賃金抑制が続く中、現場で踏ん張っている 全て職員の勤務意欲が維持できるプラス勧告を求める。



◎ 扶養手当の改悪勧告阻止を

前回交渉では「単に国の勧告に追随せず、本県の状況を分析し対応する」としているが、今後の動きは不透明。民間実態と乖離し、配偶者を扶養する世帯を中心に賃下げに陥る国準拠の見直しを許さず、県内の実態を踏まえ勧告しないことを求める。

◎ 諸手当(通勤手当等)の自己負担解消を

通勤手当の諸手当改善(自己負担解消)などの継続課題も分析中との回答にとどまる状況。主に新幹線・高速道路利用者の通勤手当及び住居手当の負担解消に向け具体的な改善勧告を求める。

◎ 子育て支援のための制度拡充を！

子育て支援のため、当面の休暇制度の拡充を求めている。

- 子の看護休暇の対象年齢の引き上げ（現行12歳⇒15歳、病気などの看護の機会増への対応）
- 学校行事参加のための特別休暇新設（授業参観、3者面談などへの出席を保障）

その他、高齢層職員の賃金改善、ハラスメント対策などの要求に対する前進回答を求める。

交渉時には、職場で取り組んだ『大型ハガキ』署名を手交し、切実な要求を突き付け、前進回答を引き出していく。

大変な時だからこそ、現場で踏ん張っている職員に報いる改善勧告を強く求める。

事務局長交渉のポイント解説！

扶養手当見直し 矛盾だらけの国人勧に準拠するな！ 当県の支給実態を踏まえ対応すべき

① 民間実態と乖離！

人事院が示した民間給与実態調査では、扶養手当を支給している事業者の78%は「配偶者の手当を見直す予定はない」としており、見直しを行うとした事業者は9%に過ぎない。民間で見直すのは少数である。

これは政府の女性活躍推進策に応じた結果であり、圧力に屈した恣意的勧告であると言える。同時に政府は配偶者控除等の税制見直しを指示し、配偶者への優遇策撤廃の動きを強めている。

② 多くの世帯で賃金改悪？

右表は配偶者と子を扶養する場合の生涯賃金への影響額の試算だ。配偶者+子1人及び配偶者+子2人では生涯賃金はマイナスとなる。配偶者+子3人で増額となるが、十分な手当とは言えず、手当見直しによる子育て支援の効果は極めて限定的で、手当を必要とする職員ほど賃金改悪に陥る結果となる。

見直し後の生涯影響額の試算	
配偶者	▲2,652,000円
子（1人あたり）	+1,094,800円
配偶者+子1人＝▲1,557,200円	
配偶者+子2人＝▲462,400円	
配偶者+子3人＝+632,400円	
【試算条件】	
・配偶者の扶養期間30年間	
・子の扶養期間23年間	
・影響額は支給月額・期末手当で算定	

③ 介護を必要とする世帯も減額へ

親の介護のため配偶者が扶養に入った世帯でも減額となり、生活実態に全く対応していない。人事委員会は、国人勧の矛盾点を認識し、当県の実態を踏まえた対応をすべきだ。

国体動員『超勤対象は通常どおり』を確認

10月開催の国体動員では早朝から夜間まで業務を強いられ、そのための移動も早朝・深夜となり、公共交通機関が利用できず、車で従事先（集合場所を含む）に移動せざるを得ないケースが発生している。県職労は国体動員に係るサービスの考え方について、人事課より「通常と変わるものではない」と確認。具体例は次のとおり。

○従事先（集合場所）への往復で私用車等で自運転の場合は超勤支給対象となる。

（バス等の乗合い、他者運転車に同乗の場合は超勤対象外）

○やむを得ず民間駐車場に車を駐車する場合は、駐車場料金の領収書により旅費精算で対応。

○やむを得ずタクシーにより移動する場合も乗車料金の領収書により旅費精算で対応。

※ 服務上の問題が発生した場合には、必要に応じ当局に申し入れます。

まず県職労に一報を！